

# 明桜中だより

北 区 立 明 桜 中 学 校  
校 長 菊 池 修 一  
令 和 6 年 度 学 校 だ よ り ・ 特 別 号  
令 和 6 年 5 月 1 日 発 行

明桜中学校  
ホームページ  
はこちら→



今日、5月1日は「北区立明桜中学校」の開校記念日です。  
明桜中学校は、今から17年前の**平成19年(2007年)4月**に、  
**「豊島中学校」**・**「清至中学校」**・**「豊島北中学校」**の3校が  
統合して誕生しました。

## 豊島北中学校

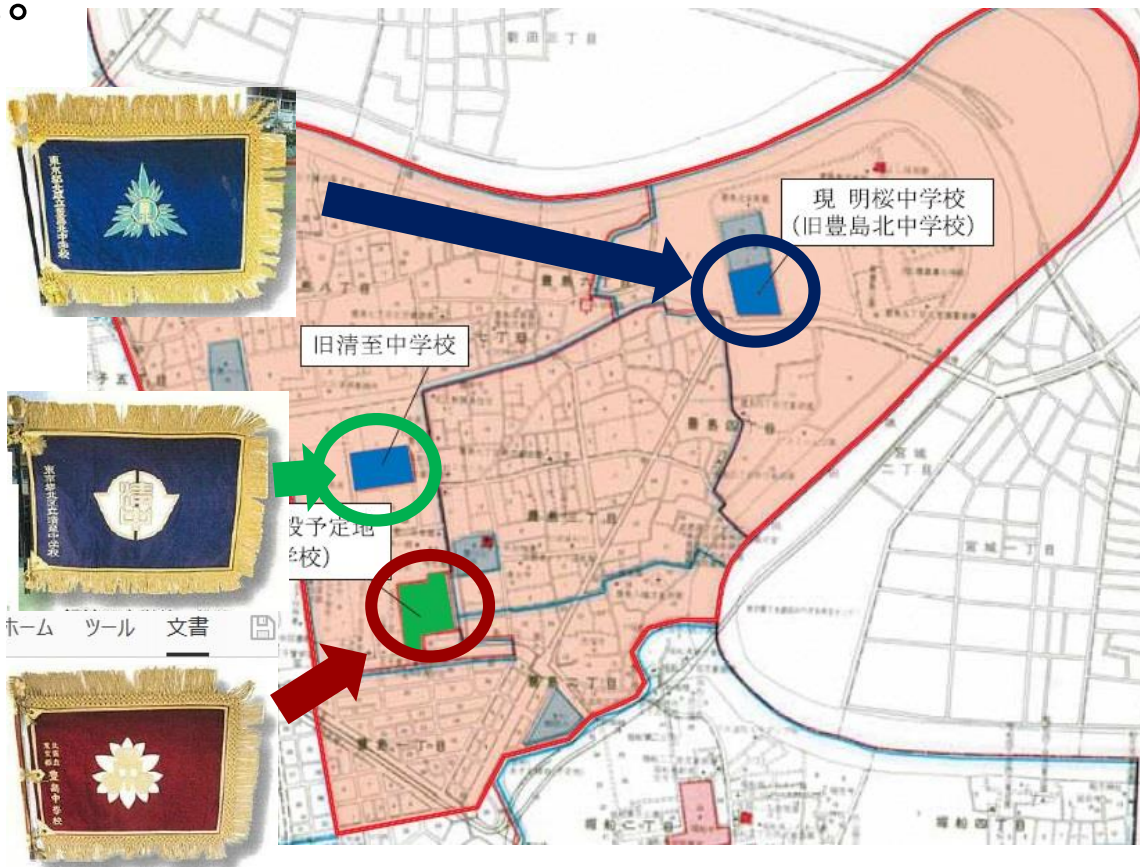
(現在のココキタの場所)  
昭和48年開校

## 清至中学校

(現在の子家センの場所)  
昭和32年開校

## 豊島中学校

(現在の明桜中の場所)  
昭和23年開校



# 明桜中学校の校名が決定するまで

開校する平成19年の前年、平成18年7月に、関係中学校PTA、関係小学校PTA、関係中学校教員、関係連合会長等からなる「**豊島中・清至中・豊島北中 統合推進委員会**」が発足しました。

この委員会では、**統合校の校名、制服、校章、校歌**、通学路や新校舎改築までの期間に使用することになる「豊島北中学校」の施設改善等について検討を進めてきたとのこと。

今回は、当時の推進委員会のメンバーで、明桜中学校の初代・2代PTA会長(現在は明桜中のスクールコーディネーター)に当時の新校の名称「明桜中学校」が決定するまで経緯などをお話を伺いました。

## 明桜中学校の校名が決定するまで

平成18年7月に、豊島中・清至中・豊島北中に在籍している生徒や保護者、学区の小学校(王子第一小・豊川小・柳田小・としま若葉小)の保護者などから校名アンケートを募集しました。

アンケートでは、**143**の校名案の意見がありました。その中でも「**豊清中**」や「**清豊中**」をはじめ3つの中学校の名前を行かした校名の意見が多く寄せられてたこのことです。

統合委員会では、「統合のルール」を踏まえ、アンケート結果を参考に意見を寄せてくれた皆さんの様々な思いを受け止めながら慎重に議論を進め、以下3つの候補に絞りこみました。

北斗中

王子豊島中

明桜中

## 最終候補に挙がった校名の理由・由来

### 北斗中

- ・泰山北斗のごとく仰ぎ見られる人材を多数出すように
- ・北とぴあがあるから
- ・豊島北中の「北」をとって

※【泰山北斗とは】

泰山と北斗星のこと。その道で大家として仰ぎ尊ばれる人。また、学問・芸術などある分野の権威・第一人者のたとえ。

### 王子 豊島中

- ・住居が王子〇丁目、豊島〇丁目に集中しており、最寄り駅も王子駅・王子神谷駅があるから。
- ・親しみやすいと考えたため
- ・豊島区の豊島中と区別して、北区の中学校と分からせるため。
- ・豊島という地名を残し、王子を付けることにより豊島区との区別ができる。

### 明桜中

- ・市の木さくらと明るい未来と生徒が明るく育って行くように願いを込めて

## 明桜中学校の校名が決定するまで

平成18年10月3日の第2回統合推進委員会で、「明桜中学校」の名称が選定されました。その後、北区教育委員会での決定、北区議会での承認を経て、正式決定されました。



### 明桜中学校は・・・

生徒の皆さんが明るく育って行くように、明るい未来への願いを込めた校名です。また、北区の木であり区のコミュニケーションマークにも採用されている「桜」によって、やさしさと親しみ、そして新しい学校としての出発をイメージさせる校名です。

## 明桜中の新校舎完成までは豊島北中校舎を使用していました

平成19年4月から統合3校の校名は「明桜中学校」に決定し、新校舎は「豊島中」の場所に建設することになりました。その新校舎完成までの期間は、「豊島北中」の場所を使用して3校の生徒が生活していました。そのため、「豊島北中」校舎の施設改善等もこの委員会で意見を出したとのことでした。



## 3校の交流について

平成19年4月の統合に向け、3つの中学校では、文化祭や生徒会活動、部活動、地域での行事を通じて交流を進めました。



## 明桜中学校の校章について

平成19年1月30日の委員会で、**明桜中学校の校章が決定**しました。校章は、北区の木「さくら」と旧3校の中には、桜の木で囲まれていた学校もあり、校章は桜の花びらをモチーフに作られました。デザインは、北区の学校に勤務していた先生に考案していただいたとのこと。



「明桜」の「桜」の花の形を主体に、「明るさ」をイメージしています。

また、3つの中学校が統合してできる新しい中学校であることから「3」という形を「3つの桜の花」と「三角形」で表しています。

# 明桜中学校の校歌について

明桜中学校の校歌は、明桜中の初代の校長先生がフォークソング好きだったとのことで、いろいろな経緯で「なごり雪」などの作詞で有名な**伊勢正三氏**の紹介を受けたとのこと。そして校長先生が事務所に何度も通われ、その熱意に押され作詞作曲の承諾が得られたそうです。そして、「想い遙かに」が誕生しました。

## 明桜中学校 校歌

『想い遙か』 詩・曲 伊勢正三

桜の淡い色した夢がいつか叶うように  
澄み渡る空見上げる度 いつも想うので

例えば冬の桜がその蕾を育むように  
きつと未来は胸の奥で今日も生まれてい

想い遙か 時よ永遠の友よ  
きつと夢に咲く明日の桜を信じて

初花咲く頃はまだ 風冷たく揺れる季節  
ささいなことで傷つくのは そんな切ない頃

これから希望の道が けわしくても遠回りでも  
いつもどこかで自分らしく生きてゆくのがいい

想い遙か 時よ永遠の友よ  
どんな時でも歩き出せる力をくれるよ

想い遙か 散る花びらの向こうに  
時を越えて咲く明日の桜を信じて 夢を信じて





# 明桜中学校新校舎の完成



明桜中学校の新校舎は、平成19年9月に策定された「**北区立明桜中学校改築基本構想・基本計画**」に基づき、旧豊島中学校の場所で建設が進みました。

そして、**平成23年(2011年)4月1日**に明桜中学校の新校舎が完成し、今年で13年目になります。

**平成19年4月に「明桜中学校」が誕生以来、昨年度(令和6年3月)までに、2,974名の卒業生を輩出しています。**

**皆さんには、統合した3校の卒業生の思いを受け継ぎ、明桜中学校の生徒として誇りをもち豊島の街を愛し、地域に貢献できる人材になってくれることを期待しています。**